

UNIVERGE どこでも内線サービス 導入事例

檜山工業株式会社 様

海外で使うスマホを本社の内線網に収容
国際通話のコスト削減と効率化を実現

檜山工業株式会社
管理本部
経営推進部
副部長
上原 歩 氏



檜山工業株式会社
管理本部
経営推進部
主事補
滝沢 生美 氏

Kashiyama

Vacuum Solutions

社 名：檜山工業株式会社
本社所在地：〒385-8511 長野県佐久市根々井1-1
設 立：1951年1月10日
資 本 金：8500万円
従業員数：連結880名、単独430名
概 要：真空機器の開発・製造・販売とともに、もう一つの
社としてスキー場向け設備機器の製造からスキー
場そのものの企画・運営まで手がける「スキービ
ジネス事業」を展開。さらにグループ企業でワイナ
リー事業にも取り組んでいる。また地域貢献活動の一
環として、本社工場の緑化を積極推進し、2014
年に「緑化優良工場等関東経済産業局長賞」を受
賞。緑のない11月～2月の冬季には、約20万個の
LEDによるイルミネーションを行っており、佐久市
の冬の風物詩として話題を集めている。

U R L : <http://www.kashiyama.com/>



事例のポイント

課題背景

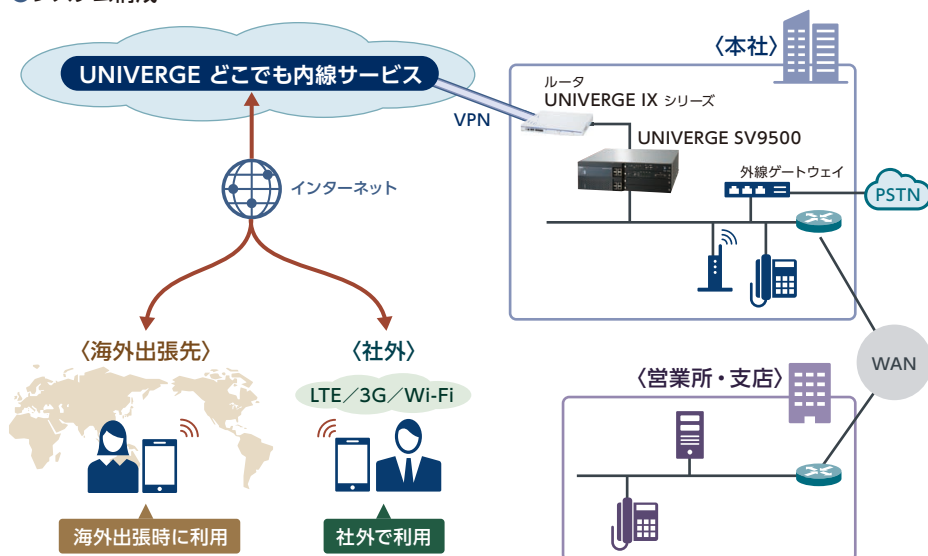
- 海外で使うスマホと日本側との通話コストを削減したい
- 国際間の内線通話の利便性を向上させたい

成 果

- 国内外を問わずスマホで内線通話が可能に
海外で使うスマホもインターネット経由で本社との内線通話を実現
- スマホの内線化で通話コスト削減
海外のスマホと日本側との通話を内線化したことによりランニングコスト（国際電話代）の削減に成功
- 社内コミュニケーションの利便性を向上
海外のスマホから内線番号で日本側を直接呼び出せ、転送作業が不要に。また、国内で受けた電話を海外出張者のスマホに転送可能に

導入ソリューション

●システム構成



導入前の背景や課題

海外業務での “出張先から日本への連絡”が 通話コストを押し上げ

真空機器の開発・製造・販売を事業の中軸とする檜山工業様は、半導体や液晶パネルの製造分野で活用される真空ポンプなどを国内外に広く提供しています。海外においては、顧客に納入した製品のメンテナンスサービスを強化する目的

で、米国および中国（上海・西安）、韓国、台湾に現地法人を開設しています。

同社では以前から、国内はもとより海外にもIP内線を延長することで通話コスト抑制に努めてきました。ただ、実際は現地の客先などにいる社員の携帯電話と本社側の固定電話でやり取りすることが多いため、海外とのモバイル通信にかかる費用をなかなか削減できずにいました。

管理本部経営推進部 副部長の上原歩氏は、「海外での業務は、本社から定期交替で出張するメンバーが主体となって遂行しています。出張中は宿泊先のホテルとお客様先を往復する毎日、現地事務所にいることはあまりないため、本社への連絡も出張先から携帯電話で行うのがほとんどです」と説明します。

選択のポイント

本社のIP-PBXと連携した スマホ内線化の仕組みを高評価

海外の携帯電話とのやり取りをどうすればより安くより効率的に行えるか。その実現手段は、ネットワークシステムの導入・運用で長年の付き合いがあるTOSYSから紹介されました。保守期限が近づいた既存の電話システムについて、IP-PBXの更新機種となる「UNIVERGE SV9500」とともに、インターネット環境下でスマートフォンを内線端末として利用可能にするクラウドサー

ビス「UNIVERGE どこでも内線サービス」の提案を受けたのです。

サービスの説明を聞いた上原氏は、「UNIVERGE SV9500」との連携により、スマートフォンがどこにあっても内線番号でつながる利便性に大きな魅力を感じました。「通話コストだけを捉えると、国内の通話定額制や同一事業者間の無料通話、通信事業者が提供する企業向け内線サービスなどを組み合わせると、国内外トータルで低廉化を図ることはできたかもしれません。しかし、社内の音声システムとして一元的に運用管理で

きることや、共通の内線番号で発着信や転送が行えることまで含めると、私どもの要望にかなうものは他に見当たりませんでした」と、上原氏は語ります。

実際に海外で使えるかどうか、NECが提供しているトライアルサービスを出張の機会に利用してしっかり確認し、合格点をつけることができました。台湾出張時に試用した管理本部経営推進部 主事補の滝沢生美氏は、「音声品質はまったく問題なく、操作面でも特に難しさは感じませんでした」と話します。

導入後の成果

通話コスト20%削減に加え、 業務効率化も実現

2015年5月から利用を開始した「UNIVERGE どこでも内線サービス」は、まず20IDを契約し、同年12月に10IDを追加。国別に必要数を割り振り、各国でモバイル通信事業者のサービスに加入し、出張メンバーのほか一部の現地赴任者や現地採用スタッフなどに付与しています。端末OSはiOS、Androidのいずれにも対応可能ですが、バージョンが統一しやすいことを考慮し、各国共通の機種としてiPhoneを選択しました。利用状況を見ると、海外でメンテナンス作業や営業活動中の社員が、技術的な問い合わせや報告で本社に電話をかけるケースが多く、端末上の社内アドレス帳から内線番号で相手を直接呼び出せる手軽さが現場で高く評価されていま

す。従来のように外線にかけた場合と比べて転送作業が不要になり、業務の効率化が図れました。また、日本から海外への発信はさほど多くはありませんが、滝沢氏は「海外出張中の社員あてに外線がかかってきた際にそのまま転送できるように、取次業務の負荷が軽くなりました」と、導入効果を述べます。

通信コスト削減に関しては、「海外拠点の端末は現地法人に運用管理を任せているため、明確な数字は出せていませんが、全体で2割程度は削減できたと見えています」と、上原氏は説明します。さらには「この機に、携帯電話からスマートフォンへ切り替えた端末もあります。これにより社内メールのチェックなど業務も効率化できたので、単純にはコスト換算できないメリットも得られています」と語ります。

現場の社員からは「IDをもっと割り当ててほし

い」という要望も寄せられていることから、IDの追加契約も検討しています。今後は、地域によってAndroid端末での利用も視野に入れながら、さらなる活用に積極的に取り組んでいく考えです。



オフィスの内線番号でタイムリーにコミュニケーションが取れ、快適なワークスタイルを実現

お問い合わせは、下記へ

UNIVERGE インフォメーションセンター

E-mail: univergeinfo@usc.jp.nec.com

● iPhoneはApple Inc.の商標です。iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
● AndroidはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
● 本カタログに記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。
● このカタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。
● 本製品の輸出（非居住者への業務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法令等をご確認の上、必要な手続きをお取りください。ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業拠点にご相談ください。